

今月は、楽しく気軽に読める詩集をご紹介します。

『しゃべる詩あそび詩きこえる詩』

はせ みつこ／編 飯野 和好／絵 富山房 1995年 ¥2200(税別)

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 小低学年★☆☆ 小中学年★★★ 小高学年★★☆ 中学生★☆☆

高校★☆☆ 一般★☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

言葉遊びのような楽しい詩から、思わずくすりと笑ってしまうような詩、静かに心に残る詩など、さまざまな詩が載っています。北原白秋、室生犀星、与謝野晶子といった往年の詩人から、まどみちお、谷川俊太郎、工藤直子などの現代作家まで、幅広い作者の詩が全部で57作品。すべてに独特でにぎやかな挿絵もたっぷりついており、見るだけでも楽しい詩集です。

詩ってこんなに自由でいいんだ、と改めて思わせてくれます。

<子どもに手渡す時のポイント>

まずはどれか1つ声に出して読んでみてあげてください。きっと子ども達は惹きつけられると思います。そこから1人で読むもよし、一緒に声に出して読むもよし、いろいろな楽しみ方ができます。

また、子どもが気に入った詩があれば、その作者の他の詩集へ誘ってもいいでしょうし、シリーズとして『みえる詩あそび詩きこえる詩』、『おどる詩あそび詩きこえる詩』も刊行されているので、続けてそちらを読んでみるのもよいのではないのでしょうか。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。